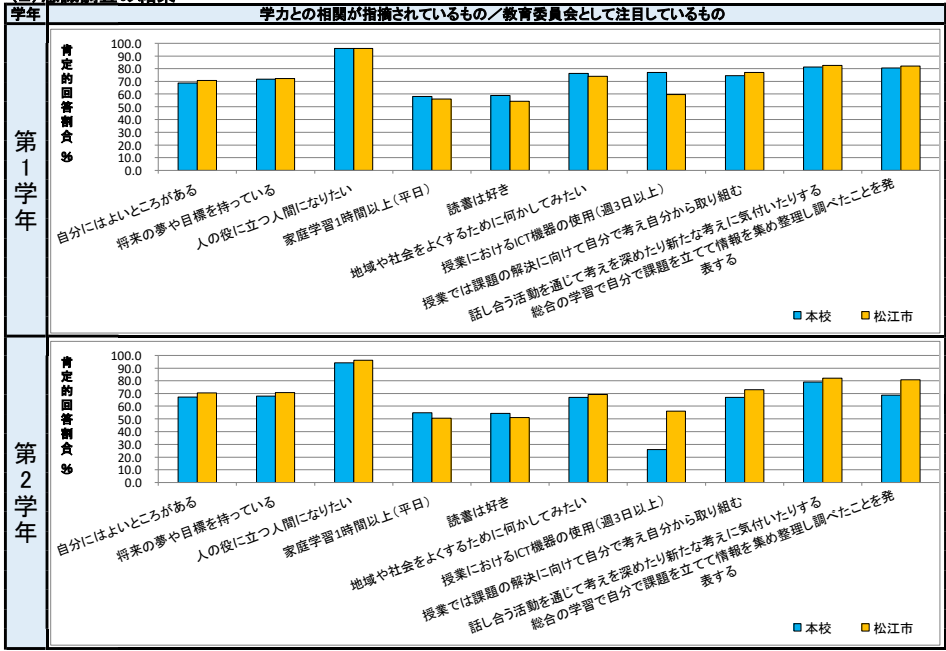


(1)教科調査の結果

| 学年 | 教科 | 分析(成果○/課題●) | 改善策(○) |
|------|----|---|---|
| 第1学年 | 国語 | 成果 ○文法、語句に関する知識の正答率は高く、基本的な知識、技能の力は身につけている。 | ・短時間でできそうな、かつ、無理なく取り組める書く活動を、時間を設定しながら継続的に取り組ませる。(書きっぱなしでなく、できているところの評価を意識的に行い、自信を持たせるようにしたり、よく書けている生徒の作品を紹介したりする。) |
| | | 課題 ●「書くこと」の分野の正答率が他に比べて低く、書いた文章を読み返して相手に伝わるように推敲する力が弱い。 | |
| | 数学 | 成果 ○「関数」領域において、全体的に正答率が高い。 | ・既習事項を定期的振り返る。 ・生活に密着した問題を取り上げ、学習した内容の活用を図る。 |
| | | 課題 ●「数と式」領域において、平均や式の値を求めること、方程式の立式において課題がある。 ●生活に密着した問題で、時差を正負の数を利用して求めることができていない。 | |
| | 英語 | 成果 ○「様々な英文の聞き取り、語形・語法の知識理解」については全国平均と同程度である。 | ・条件英作文や自己表現作文の活動を授業で多く行う。 |
| | | 課題 ●対話文の応答、特に「リスニング」による対話文の応答が課題である。 ●英作文「場面に応じて書く英作文、3文以上書く英作文」が課題である。 | |
| 第2学年 | 国語 | 成果 ○古典、書写、敬語の使い方など、基本的な知識、技能の力はついている。 ○記述式の問題にも無回答ではなく取り組んでいる生徒が多い。 | ・文章の読み取りを行う際に、本文の中から根拠を見つける課題を取り入れる。 ・登場人物と自身を結び付けるような言語活動や発問を行う。 |
| | | 課題 ●文章を読んで内容を理解、解釈すること、また、自身の知識や経験と結び付けて考えを深める力は弱い。 | |
| | 数学 | 成果 ○図形の証明を除く、性質を問われる問題への正答率が高い。 ○式の計算でのルールに従って計算をすることはおおむね理解できている。 | ・定期的に学習を振り返る機会を作る。(課題等) ・課題解決学習を取り入れ、読み取る力をつける。 |
| | | 課題 ●1次関数の文章から必要な情報を取り出し、立式することができない。 ●関数の考え方を理解していないため、利用の問題は著しくできていない。 | |
| | 英語 | 成果 ○聞き取り、読み取り、単語の並べ替えによる英作文は市の結果を上回り、よくできている。 | ・条件英作文や自己表現作文の活動を授業で多く行う。 |
| | | 課題 ●「場面に応じて書く英作文、3文以上書く英作文」が課題である。 | |

(2)意識調査の結果



<傾向と今後の対策、分析>
 成果○:強み/伸ばしたい点 について
 課題●:弱み/改善を要する点 について

【第1学年】
 ○授業におけるICT機器の使用が多い。授業効果がより高まる使い方を今後も工夫していきたい。
 ●家庭学習の時間が少ない。自学ノートの取り組みを行っているが、取り組める生徒となかなか取り組めない生徒が分かれてきている点が課題である。

【第2学年】
 ○継続的な自学ノートの提出をしており、家庭学習が身に付き始めている。
 ○読書の習慣が身に付いている。
 ●授業におけるICTの活用をおこなってきたい。
 ●課題解決的な学習を総合的な学習を始め各教科でも取り入れていきたい。

【R7学力調査受検者数】

| | | |
|------|-----|---|
| 第1学年 | 220 | 名 |
| 第2学年 | 263 | 名 |

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示